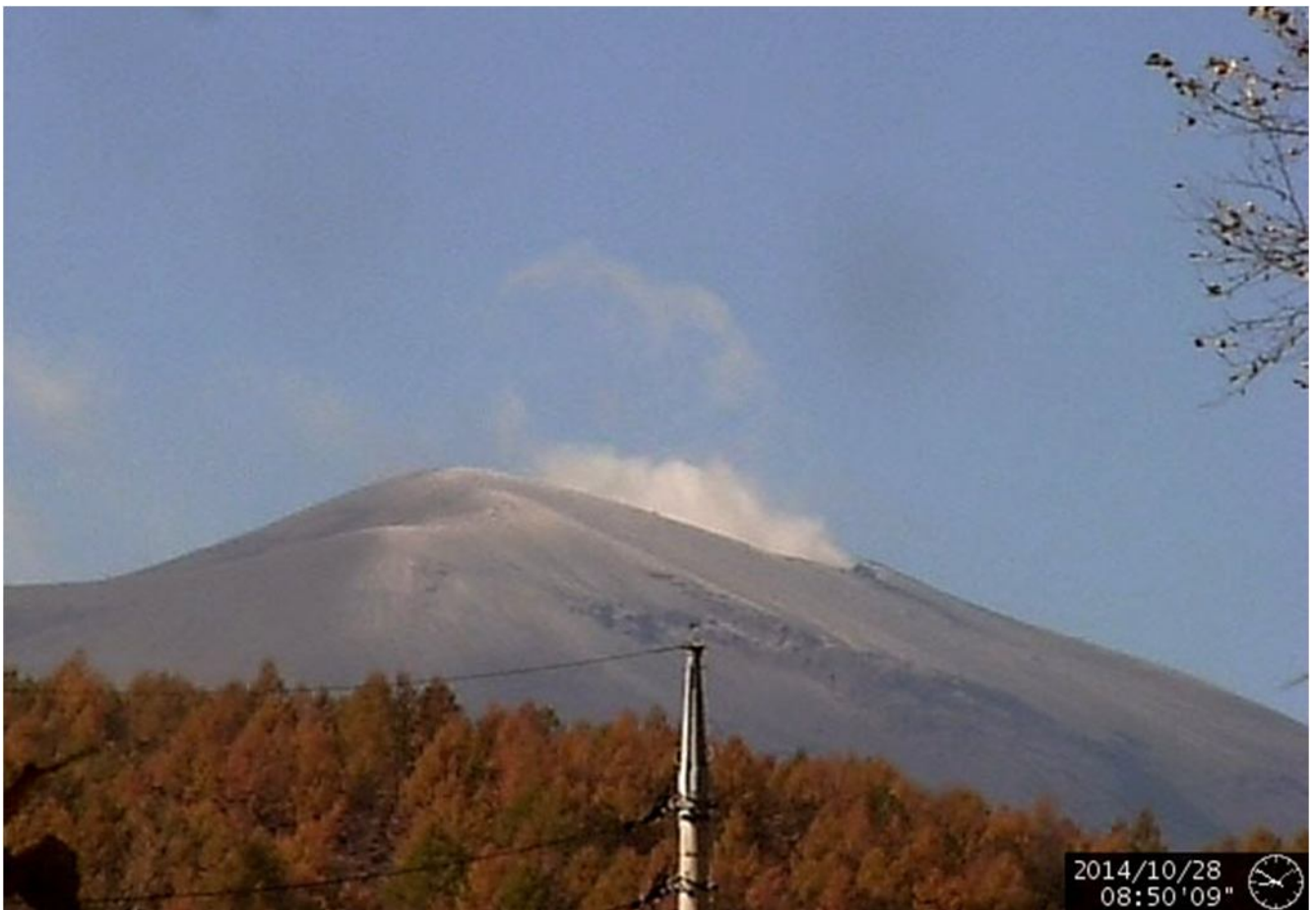


「浅間山の初冠雪(2)」

麓から独立峰を見て、山頂付近に積雪を確認した最初の日が「初冠雪」です。山をどこから観察するか、によっても初冠雪の日はちがってきます。日本の山の場合、南麓よりも北麓からのほうが早く雪が見られるし、山容(山体の地形)によってもちがうでしょう。近くに街がなかったり、气象台や測候所が遠かったりすれば、実際の初冠雪よりも発表のほうが遅れることもあります。

浅間山の場合、前橋から見た様子を基準にしているようですが、北軽井沢からはもっと早く初冠雪が観察できることが多いです。今年もそうでした。



上の写真は、今年の10月28日に、北軽井沢(山頂から約10km)のところで撮影した、「初冠雪」です。前の晩に麓には冷たい雨が降り、山頂付近は雪になったのです。しかしこの日、气象台からは初冠雪の報はありませんでした。雪が山頂直下に非常にうっすらとしか積もらず、それもわずか2時間で融けてしまったからでしょう。地元でも、この日の浅間の雪に気づかなかった方が多かったようです。

今年の浅間山初冠雪が発表されたのは、11月3日でした。この日は、前夜に山頂付近にまとまった雪が降り、誰が見ても、山頂付近が真っ白になっていました。実際に前橋の友人からも、浅間の雪が見えた、とメールが来ていました。では、その日の写真をお楽しみください。



浅間山と落葉松 / 2014,11,3 / C.Tanaka



晩秋の浅間高原（二度上峠より）
2014,11,3 / C.Tanaka

（お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋）